

県立精神医療センターの建替えに係る経緯(令和6年11月以降)

参考資料1

年月	精神医療センター建替え	東北労災病院の富谷市への移転
R6.11	➤ 令和6年度宮城県精神保健福祉審議会(第1回) (11/13) 全会一致で「精神医療センターは名取市内で建て替えるべき」と決議	
R6.11～R6.12	➤ 第394回宮城県議会 知事説明及び議員の質問に対する答弁において、以下の方針を表明 <ul style="list-style-type: none"> (独)労働者健康安全機構との協議に時間を要することや、施設老朽化の状況及び早期の方針決定を望む患者等の意見や審議会決議を踏まえて、名取市内で建替えを行う方針で検討 建替用地については、県又は県立病院機構が名取市内に所有する5つの土地を候補地として検討 県北部の精神疾患患者への対応については、「にも包括」体制の構築に向けた患者の相談体制や診療機能などを想定し、引き続き検討 	(富谷市への移転について協議継続)
R7.1～3	➤ 建替え候補地に関する情報の整理・確認 ➤ 精神C幹部職員と意見交換(3/24)	県内部で整理した情報を踏まえて 今後の進め方のすり合わせ
R7.4以降	➤ 建替え候補地・医療機能など、新病院のあり方について精神C職員とともに検討開始(別紙資料2 P3参照) ➤ 令和7年度宮城県精神保健福祉審議会(第1回) (7/10) 建替え候補地の検討状況を県から報告 ➤ 令和7年度宮城県精神保健福祉審議会(第2回) (8/7) 「県立精神医療センター建替えに求められることに関する論点整理」について協議	(独)労働者健康安全機構より労災グループ全体の経営悪化等を理由に協議終了の申し出があり、富谷市への移転を断念(5/9)

<参考>富谷市による病院誘致

- R7.5 富谷市が独自に総合病院の誘致を行うことを公表
- R7.6 誘致病院の事業者候補者公募を開始(望ましい機能として「精神科外来の設置」)
- R7.8 事業者候補者として学校法人東北医科大学が決定(大学は精神科外来の設置を提案)
- R7.10 「病院の開設及び運営に伴う基本的事項に関する覚書」の締結